

ラオス「母子保健人材開発プロジェクト」

2013年11月11日(月)にラオス人民民主共和国の方13名が来校されました。

この研修は、国立国際医療研究センターが国際協力機構(JICA)から依頼を受け実施したプロジェクトの一部で、本学では日本の看護助産人材育成の状況、国立看護大学校の教育カリキュラム、看護教育カリキュラムの開発についての講義、キャンパスツアーを行いました。

研修生は、熱心に講義を受け、各教員にたくさんの質問をしていました。

また、終了後には本学茶道サークルによるTea Ceremonyが行われ、学生がお手前を披露させていただきました。本学学生との交流、日本文化にも触れていただけたいへんすばらしい機会となりました。



田村大学校に記念品を渡すプロジェクトリーダー



講義：日本における看護助産人材育成を取り巻く状況の変化と現状(田村大学校長)



講義：国立看護大学校のカリキュラム(濱本学部長)



講義：看護教育カリキュラムの開発(亀岡教授)



キャンパスツアー：母性・小児看護実習室



Tea Ceremony(茶道サークル)